

第1回 富山地方鉄道線のあり方検討会 本線分科会 議事概要

1. 日時・場所

令和7年7月1日（火）16時30分から17時25分

富山県民会館 302会議室

2. 出席者

所属	役職	氏名	備考
富山県	知事	新田 八朗	
滑川市	市長	水野 達夫	
魚津市	市長	村椿 晃	
黒部市	市長	武隈 義一	司会進行
上市町	町長	中川 行孝	
富山地方鉄道株式会社	代表取締役社長	中田 邦彦	

3. 議事概要

(1) 本線のあり方について（富山地方鉄道本線あり方調査業務等）

- ・調査の内容及び各市町の負担については、資料のとおり全市町合意。
- ・調査のための協議会を設立。

(2) 令和8年度の対応について

- ・令和8年度の対応については、出席者から「富山地方鉄道からの試算を精査する必要がある」、「将来の運行形態やそれに係る費用等について、一定程度示された上でないと当面の行政負担について判断できない」、「当面の行政負担(R8)はやむを得ないものとして、その間に中長期のあり方議論を進める必要がある」、「持続可能な運営のために利用者の増の取組をまとめる必要がある」、「交通事業者として自治体負担がなければ、一部区間の廃止も検討せざるを得ない」等の様々な意見。
- ・上記の意見を踏まえ、結論として、調査についてはなるべく早く中間報告を出し、それを踏まえて、令和8年度の行政負担について方向性を出すことで合意。